

横浜環状北線「子安台換気所・トンネル・橋台工事」のお知らせ

第2号

平素から、地元の皆様方には横浜環状北線の事業について、ご理解ご協力を頂きありがとうございます。

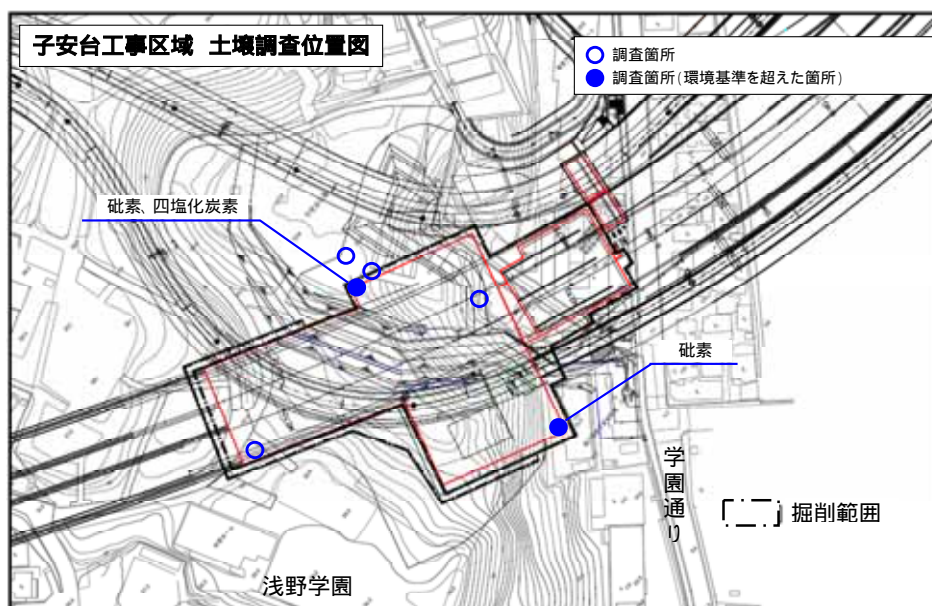
今回は、横浜環状北線の「子安台換気所・トンネル・橋台工事」における土壌調査で環境基準を超える物質が検出されたことと、子安台公園内で出土した旧日本軍の高射砲の砲身について、お知らせいたします。

地元の皆様へのお知らせが遅れ、皆様には不安とご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。なお、土壌調査については1月25日に、高射砲の砲身出土については1月10日にそれぞれ記者発表（横浜市）すると共に、首都高ホームページでも公表しています。

1. 土壌調査

調査箇所

本工事の掘削に先立ち、工事区域内においてボーリング等による土壌調査を行いました。その結果、環境基準を超える物質が検出された位置は下図のとおりです。



土壌調査の結果

・土壌調査において、環境基準を超える値が検出された位置および検出値は下表のとおりです。

溶出物質	溶出量(mg/L)	基準値	検出箇所 (全調査箇所)	検出箇所の 地表面からの深さ
砒素	0.015、0.017	0.01mg/L 以下	2箇所 (6箇所)	8～24m
四塩化炭素	0.056	0.002mg/L 以下	1箇所 (6箇所)	3～4m

原因の推定

・現在のところ、土壌汚染の原因は確認されていません。

周辺環境への影響

・環境基準を超える物質が検出された範囲においては、シートで覆い飛散防止の措置をしています。
・この範囲は、フェンス等で囲まれた工事区域内であり、立ち入りはできないようにしています。

掘削土の取り扱い

・汚染された土砂は、処分先等の基準に従い適正に処理します。

今後の対応

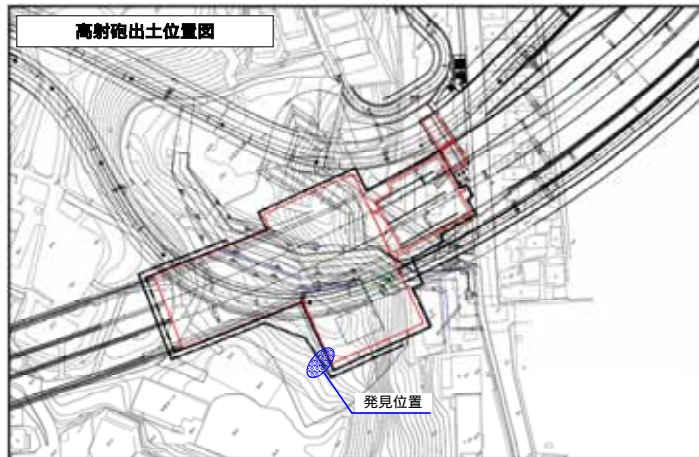
・横浜市の助言を得て、汚染土壌範囲の調査および地下水の水質調査等を行います。
・調査結果については、改めてお知らせいたします。

2. 高射砲の砲身発見

発見された高射砲

子安台公園内の工事箇所（下図参照）で高射砲の砲身が出土しました。関係機関の立会いのもと、砲身のみで本体、砲弾等はなく危険性がないことが確認されています。

砲身は、地面から50cm下にあった穴（高さ約2m、幅1.2m、延長6.5m）から見つかりました。長さは約6.5m、口径は約120mmであり、自衛隊によると旧日本軍が使用していた「三式12cm高射砲」の砲身ということです。なお、砲身は陸上自衛隊高射学校で引き取られ、保管される予定です。



「三式12cm高射砲（砲身）」

口径：120mm
砲身長：6.5m

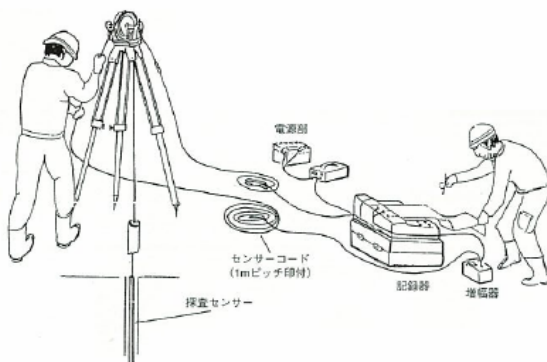
子安台公園の経緯

子安台の丘は戦前には耕地として利用されていたが、空襲時の避難や延焼防止などのための防空緑地として、昭和20年3月に子安台緑地が完成した。防空緑地は高射砲陣地や農地としても活用され、高射砲陣地として利用されていた子安台は、終戦後進駐軍により接收され、米陸軍の高射砲陣地として引き続き利用されていた。昭和30年12月に接收が解除され約27,000㎡が返還されたが、民有地および生麦中学校用地を除く約21,000㎡が陸上自衛隊子安分屯地として昭和44年まで貸与された。そして昭和50年3月ようやく公園として整備され、市民に開放された。

（出典：都市計画道路岸谷生麦線街路整備事業に伴う文化財本発掘調査報告書）

今後の対応

今回は砲身のみでの発見でしたが、他にも埋設物がある可能性があります。そのため、掘削などの作業は磁気探査によって安全を確認した後に行います。磁気探査は、人工的に作った磁場が土中に存在する金属に反応する状態を見て、埋設物を発見するものです。



磁気探査状況(イメージ)



ボーリング削孔状況(イメージ)

【お問い合わせ先】

首都高速道路株式会社 神奈川建設局 横浜工事グループ 担当:今村,熊井 TEL:045(439)0777 FAX:045(433)6282

戸田建設株式会社 首都高子安台作業所 担当:佐藤,藤田 TEL:045(570)0186 FAX:045(570)0187

横浜環状北線ホームページ:<http://www.yokokan-kita.com/>